

読書のまち三郷だより

No.34
平成24年
12月
三郷市教育委員会

12/1(土) 1300人超の大盛況 感動の渦の中、全国うちどくサミットin三郷 終わる

第4回全国うちどくサミットが市民文化会館大ホールで12月1日(土)に開催されました。北は青森、南は宮崎から参加された方や市民の方達で、会場はいっぱいでした。中学生の司会で進行されました。内容は盛りだくさんで、幼児から大人までの家読の発表、柳田邦男氏の講演に、「すばらしい」「感動した」という声がたくさん寄せられました。



高州東小学校の5・6年生のきれいな歌声による家読テーマソング「こころつないで read and talk」で全国第4回うちどくサミットは始まりました。



〔開会式〕市長挨拶 来賓挨拶 ・文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課長 ・埼玉県教育委員会教育長 ・三郷市議会議長



早稲田小学校の読書活動発表。図書委員による学校の読書活動の紹介と宮沢賢治の童話「注文の多い料理店」をオッペレッタで6年生が表現豊かに披露しました。



前間小学校読書ボランティアのみなさんによる発表。前間小の学区内に伝わる民話「おおかみづか」を大型絵本で読み語り。民話の良さがしみじみ伝わってきました。



三郷ひかり幼稚園年長さんによる読み聞かせ。大型絵本は今は中学生のお兄さんお姉さんの手作りのもの。一生懸命さや元気いっぱいの姿に会場のみなさんからは笑みがこぼれていました。



幸房小学校は校内読書コミュニケーション活動の発表と2組の親子の家読発表。2年生の正田さん、5年生の廣井さん親子は家庭での様子を実演。ほのぼのとした家庭の雰囲気伝わりました。



瑞徳中学校は図書委員会の生徒が学校の家読取り組みの様子や自分の家庭の家読の取り組み、アンケート結果から見える家読の様子を発表。その後、相澤さん、柳瀬さん2組の親子による中学生でも親密な我が家の家読紹介。

最後に「三郷市うちどく宣言」が山崎副市長と読書のまちみさと子ども読書推進協議会伊地知会長でなされました。

- 子どもが本を読み、心の中に想像の翼を広げ、知的エネルギーを蓄え、未来へ向かって羽ばたくように努めます。
- 家族が本に親しみ、語り合い、コミュニケーションの輪を広げ親子の絆が深まるように努めます。
- 読書環境や本に触れる機会を整え、「家読」を推進し、人と人との絆を深め、豊かなまちづくりに努めます。



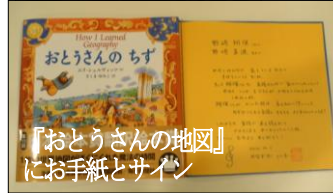
「読書のまち三郷」の新しいバッジ



一家読ゆうびんコンクール・家族いっしょ部門 柳田邦男賞



読書ゆうびんコンクールの特別賞表彰も行われました。――「家族往復部門」市長賞 「家族あて部門」市議会議長賞・教育長賞 「家族一緒部門」柳田邦男賞――柳田邦男賞は副賞として柳田氏推奨の絵本がプレゼントされました。絵本にはお手紙付きのサインがあり、思いを伝えながら柳田氏から直接手渡されました。



『おとうさんの地図』
にお手紙とサイン



お父さんへ『14ひきのひっこし』いわむらかずお/作
新和小学校1年 野崎翔瑛・野崎真波(母)



『月夜のミミズク』
にお手紙とサイン



おぼあちゃんへ
『むねとんとん』さへぐさひろこ/作
早稲田小学校1年 青木彩音・
青木美佐子(母)

ノンフィクション作家・柳田邦男氏の「大人の再生こどもの成長」の講演は、絵本が子どもにはもちろん、大人の心をも豊かにしてくれると話され、本への思いを1冊1冊丁寧に伝えて下さいました。人生で何か悲しいこと辛いことにあった時、絵本は私たちに手をさしのべ大きな役割をはたしてくれます。絵本を大人自身も大切に、子どもたちにも大切に手渡していきましょう…と言葉一つ一つが心に響くお話でした。

子ども司書大会11/30(金)に約400人

11月30日(金)三郷文化会館小ホールで子ども司書推進全国大会が開催されました。★女川町社会教育指導員の元木幸市氏が「被災地で本がたぐもの」のテーマで女川町の図書室復興の歩みを現実を伝えるたくさんの写真を見せながらお話をしてくださいました。被害の中から、子ども達のために前へ進まれる姿に勇気をもらうとともに震災を風化させず応援していく大切さを感じさせられる講演でした。



★三郷市子ども司書1期生13名がお話会風に「生きるーいのち」のテーマのもと、手遊び・ブックトーク・民話の語りを実施。「様々なことを教え考えさせてくれる本とみんなを子ども司書として結んでいきます」と決意を述べていました。



★シンポジウムでは八街市・矢祭町・小山市・柏市・三郷市の5団体が参加。現状報告と今後への課題(図書館と学校の連携、子ども司書と図書委員の関係など)について話し合われました。



小ホールのホワイエでは、市内小中学校27校と市内3高等学校の読書活動紹介の掲示物等を展示。どの学校の展示も児童生徒の日頃の読書活動の豊かさが伝わってくる素晴らしいものでした。

読書ボランティア研修会開催

1/15と11/29の2回にわたって、北部図書館を会場に読書ボランティア研修会が実施されました。約40名が参加し、大切にすべき基本的な考え方から読み聞かせの技術までを学び合いました。

読書感想文・埼玉県最優秀賞に輝く

埼玉県読書感想文コンクール・高学年部門で前間小学校6年の神戸悠里さんが最優秀賞を受賞。神戸さんは早稲田図書館主催の親子読書感想文講座にも参加し積極的に読書感想文に取り組んでいました。